

## 令和5年度 第2回 佐藤小学校運営協議会 会議録 (要点記録)

1. 開催日時 令和5年6月27日(火) 13時30分から15時30分まで
2. 開催場所 浜松市立佐藤小学校 会議室
3. 出席委員 河合 銀平、尾上 弘、酒井 里江子、湯山 紀美代、野中 せつ子、磯部 栄里子、安富 小織
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 伊藤 千恵 (校長)、高木 康泰 (教頭)、大石 葉子 (CS担当)、鈴木 雅子(CSディレクター)
6. 教育委員会 牧野 知子 (教育総務課)
7. 傍聴者 1人
8. 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 雅子

### 9. 協議事項

- (1) 議長の選出について
- (2) 教育活動の実情から考えられる児童への支援策について
- (3) 学校評価アンケート項目について

### 10. 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

- (1) 議長の選出について

前回の運営協議会で、尾上会長自身が議事進行する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

- (2) 教育活動の実情から考えられる児童への支援策について

別紙資料に基づき、教頭から丸塚中学校区の目指す子どもの姿や学校教育目標達成について説明があった。

その後、以下の内容について委員から意見を求めた。

◎学校(児童)・家庭・地域の実態を踏まえ、中学校区の目指す子ども像や学校教育目標を具現させるにはどうしたらよいか。

◎学校と地域の人・もの・ことに関し、何を、誰(どこ)に、どのようにつなげればよいか。

**尾上委員** 話し合う中で目的をはっきりさせ具現を目指す。地元にも愛着を持つための交流があると良い。例えば放課後勉強会など、地域の方に協力してもらうことができれば具現できるのではないかな。

**酒井委員** マンションが増えたことで住民同士のつながりが希薄になっていると感じる。今が転換期だと思う。子ども達を見守るにあたり、たすきを着けることで見守られる子ども達、見守る大人達がお互い安心して接することができる。見守りボランティアの輪が広がれば自然と人と地域のつながりができるのではないかなと思う。

校外学習や町探検でコロナ禍前のように介護施設との交流が戻ると嬉しい。

**河合委員** 挨拶することを一年生から覚えていくことが大切。

佐藤西南の子供会がなくなりバラバラになるのではと不安があったが、浜松祭りに沢山の親子が参加してくれて安心した。

**湯山委員** 朝、登校する子ども達の様子を見守るようにしている。『とまれ』の標識を見落とす車が見られるので、子どもの安全のために見守りが必要。

**磯部委員** PTA 活動の中でできる限り、あいさつ活動や旗振りをしている。家庭で各々事情があるので無理のない範囲で多くの家庭に協力を仰げるよう工夫をしたい。

**安富委員** 学校目標の『かがやく子』について、学年ごとの目標なのか、最終目標なのか？  
学区外から登校している子ども達にも地域に対して親しみをもってもらうにはどうしたらよいか？学区内の子ども達はもちろん区外から通う子ども達にも街を好きになってほしい。どうしたら具現できるか目標をしっかりと持ち地域とつなげて行きたいと思う。  
まずは読み聞かせや旗振りなどの活動に関わる人材を、保護者や地域の方からボランティアを募り確保したい。

**校長** 『かがやく子』とは六年生の姿が最終目標であるが、そこに向かっていく為に各学年目標を定めて学校生活を送っている。

熟議の結果、子ども達の安全のため、あいさつ・見守り活動を具現できるよう支援することを承認した。

### (3) 学校評価アンケート項目について

別紙資料に基づき、教務主任より学校評価アンケート項目についての説明があり、委員からは以下の発言があった。

**尾上委員** 質問項目は一つに絞ると分かりやすく良い。  
年間通して統計を残していきたいところは残し、他は変えても良いのでは。

**河合委員** 普段の学校生活が分からないのでアンケートへの解答が難しい。

**安富委員** 質問は簡潔に、答えやすいアンケートになると良い。

**教務主任** いただいた意見を参考にアンケート項目を再度見直したい。

### その他報告事項

司会から、次回会議は、令和5年10月12日(木)13時30分から佐藤小学校会議室で開催する旨の報告があった。